

言語習得の脳科学と 教育

講演者： 萩原裕子 氏
(首都大学東京 都市教養学部 教授)



言語の認知神経科学、文処理、言語獲得、言語学的失語症研究を専門とする。最新の生成文法理論、事象関連脳電位(ERP)や光トポグラフィー(NIRS)などの脳機能計測法、また失語症の言語学的分析を組み合わせることにより、ヒトの言語処理や言語獲得の脳内基盤を解明することに尽力している。

主な著書には、「脳にいどむ言語学」(岩波書店)、「言語理論からみた失語症-心的演算処理の型をめぐって」(最新脳と神経科学シリーズ第7巻「失語症からみたことばの神経科学」)(メディカル・レビュー社)、「言語の構造」(「失語症 臨床ハンドブック」)(金剛出版)など。

◆ **日時： 2010年12月4日(土)**
16:15~17:45

◆ **場所： 16号館106教室**

司会： 久野正和先生(早稲田大学教育学部准教授)